万国の労働者団結せよ！万国の労働者と被抑圧民族団結せよ！

（毎月２回１日・15日発行）1969年12月20日第３種郵便物認可

2018-7-1
No.1025 250円

思想運動

活動家集団 思想運動
発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区本郷３の29の10 飯島ビル１階 ☎03・3818・6671 FAX03・3818・3199（郵便振替）00190-0-758235
小川町企画・関西連絡先 ☎080・4700・6461
HP http://www.shiso-undo.jp/
購読料：年間6,000円 半年3,000円（送料共）

島袋文子さん。「昔は、月明かりしかないから光っているのは、水ということを私はわかっていた。水だから自分も飲んだ。この水を山のツワブキの葉っぱに汲んで母と弟に飲ませた。一夜過ごして、飛行機が飛んで来ないうちに少しでも糸満に近いところまで歩こうねーと、そこから出てきて昨日飲んだ水の処にもう一回、飲ませてあげようと振り向いてみたら死体が浮いている。その血の泥水を私も母も弟も、三人は飲んでいたのだ。それは、死ぬまで母と弟に言えなかった。食べる物はない。飲み水もない。私みたいに、人間の腐った血の泥水を飲んだのは、いないと思うのよ。だからこそゲート前に座り込むのよ。」
ゲート前で辺野古のおばー・島袋文子さんが、警察官や防衛局に必死の抗議。（2014年７月・辺野古）

（『おきなわ　辺野古　怒り・抵抗・希望』豊里友行写真集より、関連記事８面）

働き方改革関連法の成立強行を糾弾する
労働運動の階級的再建・再生を

六月二十九日、参議院本会議で、労働時間規制の適用除外となる高度プロフェッショナル制度の創設を含む働き方改革関連法が可決成立した。われわれは、この改悪法の成立を断固、糾弾する。

繰り返し指摘してきたとおり、働き方改革法は、労働時間規制の適用除外を法的に認容する高プロ、過労死ラインを上回る水準での時間外労働の上限規制、格差賃金を固定化し企業を訴訟リスクから解放する「同一労働同一賃金」、そして雇用されない働き方の普及促進など、労働者人民の運動と闘いの歴史がつくりあげてきた労働法規制を解体しようというものだ。

二十八日の参院厚生労働委員会では、自公両党も賛成して四七項目もの附帯決議がなされた。このこと自体が審議の不十分を明らかにしているわけだが、附帯決議という形の譲歩をしてでも労働法改悪をスムーズになし遂げたかった政府・独占の執念を見てとらなければならない。

われわれに意気消沈している暇はない。

同法の二〇一九年四月施行に向けて、高プロの対象業務や年収要件等を具体的に定めるための労働政策審議会が直ちにスタートする。監視し周知を強めることが必要だ。

経団連、日商は可決後直ちに、裁量労働制の対象業務拡大の早期実現を求める会長、会頭コメントを出した。奴らは攻撃の手を緩めていない。

六月十五日の「経済財政運営と改革の基本方針二〇一八」（いわゆる骨太の方針）では外国人労働者の大幅な受け入れ拡大が、「未来投資戦略二〇一八」では解雇無効時の金銭救済制度（解雇規制の緩和）がはっきりと打ち出された。労政審基本政策部会は六月末の報告で、雇用類似の働き方について保護の必要性の有無から今後検討するとしたが、独占は早くも「労働者性の解釈拡大に反対」との姿勢を鮮明にしている。

政府・独占の攻撃は系統的で組織的だ。そして、きわめて階級的だ。

引き続く労働法制改悪攻撃を打ち破り、天皇家の儀式やオリンピック等を梃子とした右翼ナショナリズムへの勤労人民の意識の収攫や、進行する壊憲攻撃を阻止する闘いは、労働運動の階級的再建・再生の闘いと一体でなければならない。

われわれは、この間の労働弁護団等の努力によって培われた、ナショナルセンターの枠を超えた共同行動をさらに広げ強めるよう力を尽くそう。その基盤となる、職場における労働組合の規制力の再建と、労働者が団結して資本に対峙する権利意識、階級意識の確立のためにともに奮闘しよう。

【吉良　寛・自治体労働者】

辺野古埋立てを断固阻止しよう！
恒久平和を希求する沖縄

沖縄県の各地で沖縄戦の犠牲者を悼む慰霊祭が営まれた六月二十三日の「慰霊の日」、糸満市摩文仁の平和祈念公園では沖縄全戦没者追悼式が開催された。式の「平和宣言」で翁長知事は、わたしたちは沖縄戦の「悲惨な体験から戦争の愚かさ、命の尊さという教訓を学び、平和を希求する『沖縄のこころ』を大事に今日を生きて」いるとし、それにもかかわらず戦後七三年たっても米軍専用施設が沖縄に集中し、県民が基地から派生する事件・事故・騒音等に苦しみ、悩まされている現状を訴えた。また米朝首脳会談に触れ、「平和を求める大きな流れの中にあっても」二〇年以上前に合意した辺野古移設が普天間飛行場問題の唯一の解決策かと問い、『辺野古に新基地を造らせない』という決意は県民とともにあり、これからもみじんも揺らぐことはありません」と明言した。現地では、八月十一日に辺野古への土砂投入に反対する県民大会が開かれる。

われわれは翁長知事の「宣言」を支持する。同時に、「できることはすべて行なう」、「沖縄の基地負担軽減に全力」を尽くすと言いつつ、実は辺野古の埋め立て、新基地建設を強弁し、米軍基地の危険性を放置する欺瞞に満ちた首相安倍を、そして沖縄の人びとの願いを踏みにじり、基地を押し付ける人権蹂躙の戦争屋たち、政府与党・安倍政権を断固、糾弾する。

基地そのものの危険に増して、米日本政府の米軍優先の基地の運用や、情報隠蔽がよりいっそうの危険を招いている。

F22ステルス戦闘機の暫定配備と緊急着陸、早朝飛行、騒音激化。米空軍オスプレイCV22の嘉手納基地への自治体への通告もなき初飛来。嘉手納基地所属のF15戦闘機の沖縄本島南沖への墜落、原因究明なしでの二日後の同型機飛行再開。キャンプ・シュワブの実弾射撃訓練施設からとみられる流弾の、民間地への着弾（海兵隊は認めていない）。

半年前には保育園と小学校への普天間基地所属の大型輸送ヘリによる部品、窓枠落下事故が起きたが、いまもヘリやオスプレイが上空を飛び交い、米軍機接近のたび子どもたちが避難させられている。

日本政府は、中国・朝鮮の「脅威」を煽って「平和」や「防衛」の名の下に日米一体で軍事強化するのをやめよ。米軍基地を撤退させ、自衛隊を縮小、軍隊をなくしていくことこそが真の平和に向かう道だ。**【日向よう子】**

大阪北部地震の被災者にお見舞い申し上げます

おもな内容

△政治△鎌倉孝夫・纐纈厚・浅井基文…２・３面
△政治△袴田事件不当決定（山口正紀）……４面
△政治△ここが問題「天皇代替り」⑤……５面
△国際△ニカラグアで破壊活動（三田博）……６面
△国際△ベネズエラのコミューン（村上理恵子）…７面